

岐阜県教育委員会では、平成22年11月に特別支援学校と企業が一体となって職業教育や就労支援を進める「働きたい!応援団 ぎふ」登録制度を創設しました。

平成28年2月末現在で、684社にサポーター企業として登録をいただいています。

サポーター企業で3年間継続して、表彰項目に該当した「太平洋工業株式会社」様に「平成27年度第32回岐阜県障がい児・者の教育と福祉振興大会並びに岐阜県特別支援学校PTA研修大会」開会式において教育長より感謝状の授与を行いました。

- 日時 平成27年10月16日(金) 10:00～
- 場所 大垣市スイトピアセンター 文化会館 文化ホール
大垣市室本町5丁目51番地



平成27年度 表彰企業

登録番号	企業名
78	太平洋工業株式会社(大垣市)

太平洋工業株式会社における特別支援学校卒業生の雇用の取組

方針

地域社会への貢献を積極的に進めていきたいと考え、雇用の拡大に取り組んでいます。定期採用では、特別支援学校が行う実習の機会を雇用に繋げており、実習受入の前には、進路担当の先生や保護者向けの職場見学を実施し、仕事内容や作業環境を理解していただいています。実習受入では、職業適性や性格の把握に努め、実習後には振り返り面談を行い「働きたい」「入社したい」という意欲のある方を採用しています。そして、安全で安心な職場づくりに注力し、働くことへの責任と仕事への誇りを持ってもらうようにしています。

就労支援



部品の検品を一人で担当する卒業生

職場への配置は、個々の適性に合った仕事を行えるように配慮しています。

集中力があって粘り強く作業ができる特性を持った方には、検品の作業を担当してもらい、やり遂げる達成感を持てるようにしました。今では、何種類かの製品の検品作業ができるようになり確実に作業ができています。

コミュニケーションが得意な方には、機械操作を行う組み立て作業を担当してもらい、上司から細かな手順を教えてもらいやすい環境づくりをしました。分からないこともすぐに聞いて解決し、機械操作を正確に覚え、一人で操作できる部分が増えています。



同僚とペアで部品の組立機械を操作する卒業生

生活支援

仕事面だけでなく、生活面の支援も外部の支援機関と連携を図り実施しています。会社では休憩時間や食事の時間は、同僚と対話ができるような環境づくりをし、仕事のことや仕事以外のことでも気軽に相談できる関係や雰囲気をつくっています。また、特別支援学校の先生による追指導や、障がい者就業・生活支援センターの支援員に定期的に職場の巡回をしていただき、生活面を含めたフォロー体制を整えるようにしています。

このように企業が外部の支援機関と密に連携を図ることで、特別支援学校卒業生が安心して働き続けることができ、職場の定着に繋がっています。



休憩室での同僚風景

今後

今後も様々な仕事の経験を通して、自信や働くことにやりがいを持ってほしいと願っています。こうした取り組みを通して、障がいのある方を含めたすべての社員が安全、安心で働きやすい職場づくりを目指しています。